



ももの実

玉北中 校長だより 41

「地域のご意見を！！」

作成日 令和8年6月23日(火)



地域の地を学校に。

6月19日(金)の午後には、
第1回学校運営協議会兼地域学校協働本部事業実行委員会が行われました。

委員の皆さんは、校長室で委任状を受け取った後、食堂での給食活動の様子を参観しました。その後和室にてランチミーティング。最初に給食委員の稲本樺乃さんと大谷颯真さんより、残量調査など本校の給食委員の取り組みについての紹介がありました。栄養教諭の三宅宏枝先生による本日のメニュー紹介を聞き、その後生徒会執行部のメンバーと地域の方でグループ協議をしました。テーマは「**生徒主体の学校をつくるには？**」です。「学校やクラスを、意見を出しやすい雰囲気にする。」「部活動も勉強も目標を大切にする。」「いろいろなことを体験する機会をもつ。」等が出されました。引き続き5校時の授業を参観した委員の方は、校長室にて地域学校協働活動推進員の橋本易子先生と岡本佳久教頭先生、そして私(石井)から地域連携の現状、学校の様子、学校経営の方針、本校の働き方改革について聞き、それらをもとに協議に入ります。「生徒にとって「楽しいな。明日も行きたいな。」と思える学校づくりに努めてほしい。」「『玉北ボランティア』のようなボランティアが設定できにくい学校も多い中、去年は多くの地域の方や保護者が参加している。このことから地域に支えられている学校だと思う。」「以前の玉島北中を知っているが、最近ではとても落ち着いて学習ができています。この状態が継続できると良い。」



『**生徒の主体性を育む**』ことがランチミーティングのテーマであったが、生徒に日々の学校生活で心がけていることを聞いたところ、部活動において、練習メニューを自分たちで考え実践していると答えていた。主体性が育っていると感じた。」「教員の働き方改革を進めるため、PTAとしても学校の思いを理解しながらそれを周りに周知し、支援できることを行っていきたい。」等の意見や感想等が寄せられました。

今回は、倉敷市教育委員会指導課と生涯学習課から、それぞれ1名ずつ、本会への視察がありました。「学校や地域だけではなくPTAや生徒の意見を取り入れながら会が進められていた。それらが連携していろいろなことを前向きに進めようとする雰囲気が感じられた。」「熟議という本会定番の時間を、『**生徒会が決定したテーマによる懇談**』という形にうまくアレンジし、学校の実態に合わせた取り組みについてみんなで考えていたのが良かった。」「地域学校協働活動推進員を2名配置し、役割分担がしっかりとできている。今後も働き方改革をふまえた活動に取り組んでほしい。」等の感想や指導がありました。

第2回は、令和9年2月19日に予定しています。貴重な意見を楽しみにしています。

体が基本。

6月には給食委員会主催の『**残量調査**』があり、食堂前には学級ごとの集計結果がグラフで表されています。これについて栄養教諭の三宅宏枝先生にコメントを求めると、「昨年度よりも約20kgくらい残量が減っています。献立には生徒にとって苦手なものもありますが、みんなよく食べています。現在の残菜率も、国の指針である10%を下回っています。良い結果ですよ。」とのことでした。

